VOCAL TRANSCRIBER

Windows / Mac マルチチャンネル設定



本ガイドは、Windows 環境下でのオーディオの競合を解消し、システムが 8 つの独立したチャンネルを正しく認識し、完全に録音できるようにすることを目的としています。

IPEVO
www.ipevo.com
お問い合わせは、以下の
メールアドレスにご連絡ください
cs-jp@staff.ipevo.com

Copyright© 2026 IPEVO Corp. 無断転用禁止。

目 錄

Windows マルチチャンネル設定

第 1 段階：ハードウェアレベルの競合解除(Intel® SST の解放) 01

第 2 段階：8 チャンネル録音フォーマットの設定 02-03

第 3 段階：対応アプリケーション一覧 03

デバイスの切り替えと復元(FAQ) 04

macOS マルチチャンネル設定

ステップ 1：オーディオ MIDI 設定を開く 05

ステップ 2：チャンネル構成を確認する 06

Mac 使用時の疑問と影響 07

VOCAL TRANSCRIBER Chromebook OS オペレーティングシステム：
マルチチャンネル設定には対応していません。 07

Windows マルチチャンネル設定

第 1 段階：ハードウェアレベルの競合解除(Intel® SST の解放)

問題の背景：最近の Intel プロセッサー搭載ノート PC に内蔵されている「Intel® Smart Sound Technology（SST）」は、USB オーディオストリームに干渉することがあり、多くの場合、8 チャンネル対応デバイスが強制的にモノラルまたはステレオモードに固定されてしまいます

1. デバイスマネージャーを開く：

画面左下の「スタート」アイコンを右クリックし、「デバイスマネージャー」を選択します。

2. 干渉項目を無効化：

「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」カテゴリを展開します。

3. 操作を実行：

「Intel® Smart Sound Technology for USB Audio」という名前の項目を見つけ、右クリックして「デバイスを無効にする」を選択します。

注 1：アイコンに下向き矢印 ⬇ が表示されれば、正常に制御が解放されたことを意味します。パソコンが損傷することはありません。
注 2：この設定項目が見つからない場合は、このパソコンにはこの機能が搭載されていないことを意味します。そのまま第 2 段階に進んでください。これは操作ミスではなく、マルチチャンネル設定にも影響しません。

4. パソコンを再起動します

第 2 段階：8 チャンネル録音フォーマットの設定

1. サウンド設定を開く：

画面右下のタスクバーにある「スピーカーアイコン」を右クリックし、「サウンドの設定」を選択します。

2. 詳細オプションを探す：

開いたウィンドウを下にスクロールし、「サウンド コントロール パネル（詳細なサウンド設定）」をクリックします。

3. 録音デバイスを設定：

表示されたウィンドウの上部で「録音」タブに切り替え、「VOCAL TRANSCRIBER」を見つけて右クリックし、「プロパティ」を選択します。

4. 8 チャンネルに切り替え：

上部の「詳細」タブをクリックし、ドロップダウンメニューから次を選択します：
「8 チャンネル, 16 ビット, 48000 Hz（DVD 品質）

5. 「オーディオエンハンスメントを無効にする」のチェックを外す

6. 完了：

「適用」→「OK」をクリックして保存します。

第 3 段階：対応アプリケーション一覧

設定完了後、各ソフトウェアでの動作は以下のようになります。ご利用シーンに応じて期待される結果をご確認ください：

	代表ソフトウェア	音声の挙動
リモート会議プラットフォーム	Teams, Zoom, Google Meet	**自動ミックスダウン：**ソフトウェアが 8 トラックの音声を 1 トラックに統合して送信します。リモートの参加者は全員の音声を聞くことができますが、個別に音量を調整することはできません。
プロ向け録音/配信	Adobe Audition, OBS, vMix	**完全独立：**8 つの独立した波形を同時に表示・録音できます。後編集や個別の音量調整が必要な専門用途に適しています。

デバイスの切り替えと復元(FAQ)

Q: 設定を無効化すると、他のデバイス（Bluetooth ヘッドセット、USB ウェブカメラなど）の使用に影響しますか？

- 影響なし：外付けの USB および Bluetooth デバイスはすべて影響を受けず、通常どおりプラグ＆プレイでご利用いただけます。
- 軽微な影響：ノート PC 内蔵マイクの AI ノイズ抑制機能のみ、SST の無効化により一時的に無効になる場合があります。

Q: 元の設定に戻すにはどうすればよいですか？

1 対 8 システムを使用しなくなった場合は、「デバイスマネージャー」に戻り、Intel® SST 項目を右クリックして「デバイスを有効にする」を選択し、システムを再起動してください。再起動後、システムは工場出荷時のオーディオ処理モードに戻ります。

Q: 私のパソコンは AMD プロセッサーですが、同じ問題は発生しますか？

通常は発生しません。

- 技術的な違い：AMD プロセッサーは「AMD ACP（Audio Co-Processor）」技術を採用しています。Intel SST がすべての USB オーディオを強制的に制御するのとは異なり、AMD のドライバーは通常より「パッシブ」であり、外付け USB デバイスのチャンネル数を積極的に制限することはあまりありません。
- 操作の推奨：AMD ユーザーは通常、「第 1 段階」を直接スキップして「第 2 段階」に進み、Windows のフォーマット設定を確認するだけで構いません。第 2 段階で 8 チャンネルが表示されない場合、通常はドライバーの競合とは関係なく、USB 帯域幅の不足や接続ケーブルの品質の問題が原因です。

Q: パソコン内蔵の Realtek オーディオチップは 8 チャンネルマイクに影響しますか？

基本的には影響しませんが、一つ例外があります。

- 独立性：Realtek チップは主にノート PC のヘッドフォンジャックとスピーカーを制御します。お使いの 1 対 8 マイクは USB 経由で接続されており、独自のオーディオ処理チップを搭載しているため、論理的には Realtek と並列の関係にあります。

- 例外（オーディオエンハンスメント）：一部の Realtek 制御ソフトウェア（Realtek Audio Console など）はグローバルな「オーディオエンハンスメント」機能を有効にしており、これがまれにマルチチャンネルデバイスの音質劣化を引き起こすことがあります。

- 推奨事項：録音にノイズがある場合は、マイクのプロパティの「詳細」または「オーディオエンハンスメント」タブで「すべてのサウンドエフェクトを無効にする」にチェックを入れてください。

Q: なぜ私の VOCAL TRANSCRIBER は Windows 上で 1 チャンネルまたは 2 チャンネルしか録音できないのですか？

一部の Windows パソコンに内蔵されている「Intel® Smart Sound Technology for USB Audio」機能が、USB オーディオデバイスの処理方法を制御してしまい、システムが誤認識してマルチチャンネルマイクをモノラルまたはステレオに制限することがあります。この機能を無効化すると、Windows は内蔵の汎用ドライバーに切り替わり、すべてのチャンネルを正しく認識できるようになります。

Q: デバイスマネージャーに「Intel® Smart Sound Technology for USB Audio」の項目が見つかりません。どうすればよいですか？

これはお使いのパソコンにこの機能が搭載されていないことを意味し、操作ミスではありません。第 2 段階の手順に従って、手動でマルチチャンネル設定をご確認・設定いただけます。

macOS マルチチャンネル設定

ステップ 1：オーディオ MIDI 設定を開く

Mac の詳細なオーディオ設定は「システム設定」内にはなく、隠れたツールにあります：

1. Command + Space キーを押し、「オーディオ MIDI 設定」（Audio MIDI Setup）と入力して開きます。

2. 左側のデバイス一覧から「VOCAL TRANSCRIBER」をクリックします。

ステップ 2：チャンネル構成を確認する

1. 「格式（フォーマット）」ドロップダウンメニューを確認します。通常、Mac は自動的に「8ch 16-bit Integer 48.0kHz」として認識します。

2. 「スピーカーの構成／設定の構成」（バージョンによって名称が異なります）をクリックします：「入力」タブの下に、1 ～ 8 チャンネルの独立したボリュームバーが表示され、Mac が完全に認識していることを確認できます。

Mac 使用時の疑問と影響

Q: これらの設定を変更すると、元の MacBook の機能に影響しますか？

ほとんど影響はありません。

- 内蔵スピーカー／マイク：完全に影響を受けません。Mac はすべてのオーディオデバイスを個別に管理・設定しています。
- 他のヘッドフォン：こちらも影響を受けません。
- 唯一の注意点：「オーディオ MIDI 設定」でサンプルレートを手動で変更した場合（例えば 96kHz に変更した場合）、お使いのソフトウェアが対応していないと、音声が途切れることがあります。48.0kHz のままにしておくことをお勧めします。

Q: Mac 上でのアプリケーションの動作はどうですか？

Windows と同様に、ソフトウェア自体の制限は依然として存在します：

- FaceTime / Teams / Zoom：8 チャンネルは自動的にモノラルまたはステレオに「ミックスダウン」されて相手に送信されます。
- Logic Pro / GarageBand / Adobe Audition：これらの専門ソフトウェアは 8 つの独立したトラックを完全に認識でき、個別に録音することができます。

VOCAL TRANSCRIBER Chromebook OS オペレーティングシステム：マルチチャンネル設定には対応していません。

項目	影響度	詳細説明
Intel プロセッサー搭載PC	手動調整が必要	「Intel SST」技術を無効化する必要があります。無効化しないと、システムによりデバイスがモノラルでしか動作できないよう制限されます。
AMD プロセッサー搭載PC	明確な影響なし	通常は追加設定なしで直接認識されます。ハードウェアドライバーを無効化する必要はありません。
MacBook (Apple)	明確な影響なし	システムがオーディオデバイスを個別に管理するため、内蔵スピーカーやマイクの機能には影響しません。
内蔵ノイズ抑制機能	軽微な影響	Intel SST を無効化すると、「内蔵マイク」のAIノイズ抑制機能のみ一時的に無効になる場合があります。
外部周辺機器	影響なし	既存のBluetoothヘッドセットやUSBウェブカメラは、通常どおりプラグ＆プレイでご利用いただけます。